

宮城山岳通信 第17号

目次

巻頭言	富塚和衛 1~2 頁
定例役員会報告	事務局 2~3 頁
宮城支部山行報告	
☆春山山行（蛤山）（共益事業山行）	太田 正 4 頁
☆第 7 回親子登山教室（戸神山）（公益事業山行）	佐藤昭次郎 4~5 頁
☆第 8 回登山教室（船形山）（公益事業山行）	草野洋一 5~6 頁
山行以外の宮城支部行事開催報告	
☆該当事項なし	
宮城支部以外の日本山岳会関係行事参加報告	
☆第 35 回全国支部懇談会参加報告	富塚和衛 6~7 頁
平成 31 年 7 月～平成 31 年 10 月の行事予定	事務局 7 頁
編集後記	遠藤銀朗 8 頁

巻頭言 「山開き」

支部長 富塚和衛

山で春ゼミの蝉しぐれを耳にする時節になると、各地から「山開き」の知らせが届く。先日、車を運転しながら列島リレーニュース（NHK）を聴いていると、西日本の最高峰に君臨する四国の霊峰、石鎚山(1,982m)の「山開き」のことが流れてきた。耳を澄まして聞き入ると、石鎚山の「山開き」は石鎚神社夏季大祭と呼ばれ、古くより「お山市」・「お山開き」などと称されており、この大祭は7月1日から7月10日に斎行されるという。一般の登拝者も参加できるが、7月1日は女人禁制とする神事として執り行われており、登拝を許されない女人は大団扇を仰ぎ風となって登拝者と共に弥山の石鎚神社を目指すのだそうだ。将に、山岳信仰（修験道）を色濃く残す歴史的な神事のようなのだ。

抑々、「山開き」とは何を意味するのであろうか。石鎚山の夏大祭から類推せずとも、平たく言えば、一般の人が登山を楽しむことができる日に行われる行事といったところだろう。山は日本人にとって古来より神様が住む神聖な場所として崇め奉られてきた。神聖な山に立ち入ることが出来たのは山伏や坊主など、山に住み修業を積む人々に限られていた。時代を辿るにつれ一般の人でも山頂に祀られた奥宮などに参詣することが許されるようになって

来る。その入山可能な期間の始まりを一般の人に知らしめるのが「山開き」の行事だった。昨今の「山開き」は、神事色は薄れ、誰でもが安全に山に親しめるようになる春から初夏にかけて登山シーズンの到来を告げる風物詩的な色合いで「山開き」が行われるようになって来たのではないだろうか。無論、今でも石鎚山の「山開き」のごとく神事色の強い、「開山祭」など称される一般登山者の安全を祈願するために行われる「山開き」の山も多く残る。

宮城の山では、知る限りでは、5月8日に行われる「七ツ森」の登山口脇の御門杉での無病息災祈願の祈祷と笹倉岳山頂の薬師堂で本尊の薬師如来像の御開帳が行われる「大森（笹倉山）薬師如来祭礼」がある。因みに、過っては旧暦4月8日に催事されていた祭礼に合わせて行われていた「七薬師掛け」が、今も地元宮床のむらづくり行事の一環として秋に行われており、完登者には登頂記録証が交付される。

実は、この「七薬師掛け」に挑んだ経験がある。8年程前のことだったと思うが、柴崎徹会員が古稀を迎えた年に実施した宮城支部の行事に参加したことがある。たがら森近くの公園を朝4時半に出発、全長約24kmの道程を歩き続け出発地の公園に帰って来たのは17時過ぎ。12時間を超す長丁場だったと記憶している。

諸兄におかれても、一度機を捉えて挑戦してみてもは如何でしょうか。参考までに、県内の主だった山の今年の「山開き」の日を北から順に挙げておきます。

- ・栗駒山 5月第3日曜日（岩手、宮城共）
- ・禿岳 5月第4日曜日
- ・船形山 5月第4日曜日
- ・泉ヶ岳 4月20（土）
- ・大東岳 5月最終日曜日
- ・北蔵王 5月第3日曜日
- ・南蔵王 6月第1日曜日

定例役員会議事録

☆令和元年5月定例役員会議事録

日時：5月23日（木）18:30～20:30
場所：仙台市シルバーセンター5F会議室
出席者：富塚支部長、遠藤副支部長、横山、柴崎、鈴木、千石、富塚（真）
計7名

《報告事項》

- (1) 総務・財務委員会からの報告
 - ①山岳関係機関からの受理状況について
 - ②2019年度宮城支部役員連絡網について
- (2) 山行集会委員会からの報告
 - ①4月春山山行実施結果について

- ②第8回親子登山教室実施結果について
- ③第7回登山教室実施計画について
- (3) 指導・遭難対策委員会からの報告
 - ①積雪時安全登山技術講習会結果について
 - (4) 60周年記念事業特別委員会記念誌編集部階からの報告
 - ①支部設立60周年記念誌（宮城山岳第23号）編集進捗状況について
 - (5) 第35回東北北海道地区集会特別委員会からの報告
 - ①第4回打合結果について

《審議事項》

- ①規約第 14 条第 2 項に基づく山行行事参加費について

・参加費は 500 円とし、この旨内規に明記することについて承認

《その他》

- ①仙台市教育委員会後援承認について
②本部 H・P への第 35 回東北・北海道地区集会及び第 8 回親子登山教室の掲載について
③「山岳 114 号」掲載原稿について
④「山」5 月号掲載原稿(第 35 回地区集会)について
⑤東北・北海道支部以外からの第 35 回地区集会参加申し込みについて
⑥「安全登山ハンドブック」について
⑦本部節田編集委員長からの助言について
⑧宮城県警登山届のコンパスネット利用開始について

(事務局報告)

☆令和元年 6 月定例役員会議事録

日 時：6 月 26 日(水)18:30~20:30

場 所：仙台市シバセンター 5F 会議室

出席者：富塚支部長、草野、柴崎、佐藤、横山、富塚(真)、鈴木、高橋(二)
計 8 名

《報告事項》

- (1) 総務・財務委員会からの報告

- ①山岳関係機関からの受理状況
・熊野古道奥駆道前鬼山の落書きについて
・本部新役員について
②秋田支部設立 60 周年記念祝賀会のご案内について
③活動紹介ポスター(仙台市民活動サポートセンター)の掲示について

- (2) 山行集会委員会からの報告

- ①第 7 回登山教室実施結果について
②ヨーロッパアルプストレッキング実施計画について
③8 月夏山山行(南八ヶ岳)実施計画について

- (3) 第 35 回東北北海道地区集会特別委員会からの報告

- ①申し込み状況について
・役員は全員参加とする。

- (4) 会報・編集出版委員会からの報告

- ①60 周年記念誌(宮城山岳第 23 号)の配布遅れについて
・送られてきた製本に問題があり、発注先と調整中、配布時期は不明。

《審議事項》

- ①世界谷地湿原保全作業について
・状況は変わっていないことから、昨年同様の文面で回答する事とした。
②宮城支部 H・P のリニューアル作業について

現在の H・P はすべて削除し新たにビルドアップすることを了承、その際、可能であれば USB に削除するデータを保管して置き、必要なデータがあれば利用してはとの意見あり。

《その他》

- ①タウン誌「仙台ぱど」の取材について
・7・26 号に「低山の楽しみ方」の特集
②会員の退会(川名久子会員)について
・会員数 39 名で 33 支部中最小支部に
③「山の日マガジン 2019」の配布について
④ビールパーティの開催について
⑤鳥山会員への編集委員就任打診結果について
・就任は難しい状況
⑥会員逝去時の支部弔意について
・内規として定めることとした。

(事務局報告)

宮城支部山行報告

☆春山山行（蛤山）

（共益事業山行）

- ・実施日：平成31年4月13日（土）
- ・山域：蛤山 1014m（伊具郡七ヶ宿町）
- ・コース：南蔵王青少年旅行村駐車場より南200m先の国道113号沿い林道口出発—林道—林道終点—登山口—最高地点—蛤山山頂（葉山神社）—（同コース下山）—国道113号沿い林道口帰着
- ・参加者：（会員）遠藤銀朗、太田正、加藤知宏、草野洋一、佐藤昭次郎、千葉正道、富塚和衛、富塚真味子、鳥田笑美、（支部友会会員）佐藤富士子、白田昭一、多田孝徳、鳥田伊志、針生紀子（計14名）
- ・報告者：太田正

蔵王青少年旅行村駐車場より少し南の登山口に近い場所に集合する。

今回は、穏やかな天気恵まれ絶好の登山日和で、林道を1時間くらい歩いたところから登山口に入る。ここからは本格的な登りが尾根まで続くが、途中右手に不忘山と南屏風岳の稜線が青い空にくっきりと白く輝いて見え、小休憩時の展望は申し分ない。しかし、前々日に降雪があり標高900m付近から頂上部にかけて一面に硬い雪が残っていた。

稜線に出たからは、15cmほどのやや深い雪に足を取られながら程なく最高地点1,014mのピークに到着した。そのまま進み、葉山神社が祀られている蛤山山頂で昼食をとり、1時間ほど休憩して往路を下山する。

この山に以前登ったときには、最高地点のピークのすぐ下あたりでしか展望がひらけなかったのが、落葉している時期にと考えての山行の計画であったが、残雪があるとはい

え稜線全体が展望が開けていて予想を超える景色を見ることができた。

ただし、今回のように直前に春の雪嵐があったり、近年の豪雨被害のような異常気象が頻発していることを思うと、予想外の気象による危険に注意しなければならないことをあらためて考えさせられました。

☆第7回親子登山教室（戸神山）

（公益事業山行）

- ・実施日：令和元年5月19日（日）
- ・山域：仙台市太白区、戸神山（504m）
- ・コース：仙台市広瀬文化センター（集合）→戸神山登山口→表・裏登山道分岐点→裏コース→女戸神山山頂→鞍部→男戸神山山頂→表コース→表・裏登山道分岐点→戸神山登山口→仙台市広瀬文化センター（解散）
- ・参加者：（会員）富塚和衛、佐藤昭次郎、草野洋一、富塚真味子、加藤知宏（会友）針生紀子、白田昭一（応募参加者）7家族の申し込みあり。当日1家族の4名キャンセル、7家族22名（親子および祖父の参加）
- ・報告者：佐藤昭次郎

実施当日は、8:30に仙台市広瀬文化センター前駐車場に集合して、車分乗により白沢峠の登山口に向け出発。前回第6回のリピーターも居て、家族登山が継続される事は「山の日」の主旨にも合致する事と思いながら、雨の心配がない新緑の登山日和を峠の駐車場に9:20着

登山開始に先立ち登山口から少し入った市水道局の施設前で、「安全に山に登るため

に」と題して(佐藤会員担当)現地の地形図を配布し各家族に地図を開いて貰った。そこで現在地の高度は凡そ何メートルか?の質問から教室は始まった。各親子で地図に向かい判明した家族から発表してもらいました。そこで基本となる地図の見方を学習し、さらに山の歩き方や水分のとり方などを(草野会員担当)学習した後、準備にストレッチ(富塚真味子会員担当)を実施した。

その後、9:40に登山を開始し、裏コースを進み11:05に女戸神山山頂に到着した。ここで休憩の後鞍部を経て一番急な「熊落とし」も一気に11:30に目的地である男戸神山山頂に登頂した。新緑のこの時期は他の登山者も居て賑やかである。ここで昼食休憩をとる。

後続の登山者も増え、場所を譲る意味でも早めに下山を開始し、前回と同様に斜面のぼりをする事を約束し参加者全員で記念撮影後に、12:00に下山を開始。前述の鞍部から表コースを下山し、12:40に戸神山表コース・裏コース分岐点到着した。この分岐点で休憩時間をとるとともにリピーターの要望が強い、子供たちの急坂登りと急坂ロープ下りの体験トレーニング教室を親御さんの了解の下開催した。この急坂登り下り体験は、参加した子供達にとって身体の安全を確保しながら急坂を登ったり下ったりするための知識と技術を、体全身で楽しみながら実践的に学ぶよい機会になったと思われる。終了時に子供たちに草野会員制作の筒笛がプレゼントされ、登山口まで色々な音色の行進が続いた。

14:20に登山口まで下山し、解散式を行い、15:00に第8回親子登山教室の全日程を終了した。

☆第8回登山教室(船形山)

(公益事業山行)

- ・ 実施日：令和元年6月9日(日)
- ・ 山域：船形山 1500m

- ・ 集合場所： 大和町・旗坂キャンプ場、
7時30分集合
- ・ コース： (升沢コース) 旗坂キャンプ場→升沢小屋→升沢→船形山頂
山頂→蛇ヶ岳→升沢コース合流点→旗坂キャンプ場
- ・ 参加者：(会員) 富塚和衛、太田正、
加藤友宏、草野洋一
(支部友会会員) 津久井宏、多田孝徳、
佐藤富士子
(一般) 小山敏男
(計8人)
- ・ 報告者 草野洋一

第8回登山教室を船形山で行ないました。前日が雨で、当日は曇りで不安もあったが出発時から日射しもあり、天候に恵まれた山行だった。参加者ははじめ13人(一般4人)だったが、前日、当日でキャンセルなどがあり結局8人で7時55分にキャンプ場を出発した。

升沢小屋まではブナ林の林間の尾根道を緩やかに登って順調に登る。途中の三光の宮の展望台に立ち寄り、船形山頂をはじめとして周囲の山々を見渡すことができた。升沢小屋から今コースの難所になる沢登りに。岩がぬれていて滑るので注意することを確認して一同気を引き締めて出発。右岸、左岸の大小の岩をぬって登山靴も水をかぶりながら、赤布の目印を見落とさないようにして登行。残雪の斜面にでたところで安全のためアイゼンを装着する。残雪を抜け出したところからルート上の登山道となる。千畳敷から尾根筋に出たところで、黒伏山から仙台カゴなど周囲の山々を望むことができた。山頂に12時半前に到着、頂上には10人もいなかった。避難小屋で昼食をとる。

下山は蛇ヶ岳を経由して升沢コースにでた。蛇ヶ岳からは残雪斜面が二か所あり、アイゼンを装着した。そこで雪面斜面の歩き方を太田会員からレクチャーしてもらった。升沢コースに出て、下山途中、津久井さんの案内で大きな岩に刻まれている観音像を皆で見学した。言われないと通り過ぎてしまう場

所だった。

17時15分にキャンプ場に全員下山。支部長あいさつの後、各自帰路に着きました。

山行以外の宮城支部行事開催報告

今号では山行以外の宮城支部開催行事等への参加報告はありません。

宮城支部以外の日本山岳会関係行事参加報告

☆ 第35回全国支部懇談会参加報告

- ・参加者：富塚和衛支部長、富塚真味子
(計2名)
- ・報告者：富塚和衛

令和元年5月25日(土)～26日(日)の2日間、第35回公益社団法人日本山岳会全国支部懇談会が奥日光・光徳(日光市)「日光自然博物館」・「日光アストリアホテル」を会場に行われ、これに参加したので報告する。全国27支部から約160名が参加、宮城支部からは2名が参加した。

【1日目】

- 開会式 渡邊栃木支部長歓迎挨拶
大島一生日光市長来賓挨拶
- 記念講演
「近代登山とアーネストサトウ父子の日光への山旅」
講師 飯野達央(栃木県職員OB、栃木県立博物館協議会長、CRT栃木放送ふるさとレポーターなど)
(概要) 勝道上人の日光開山から始まる日光山の歴史を手始めに、近代登山の黎明とウエストンに先駆け、北アルプスや南アルプス、日光連山の山々を踏破し、日本に近代登山を導入した先駆者の一人であるアーネストサトウの足跡を中心にした講演内容だった。特に、アーネストサトウと日光連山の関りや、彼の子供でもあり第6代日本山岳会会長でもあった登山植物学者で登山家の武田久吉と日光の繋がりにも言及する内容であった。
- 懇親会
各支部のスピーチは二次会で行われた。

【2日目】

●交流山行

①湯元～切込湖・刈込湖～光徳牧場ハイキングコース

②英国・イタリア大使館別荘記念講演見学コース

(概要) 宮城支部はAコースに参加。 8:00に1班、2班に分かれバスに乗りしホテルを出発、8:30登山口から入山する。新緑の中、清々しい登山道を列をなして進む。緩やかな道が続き将にハイキング気分で上り下りを繰り返して行く。

シラビソの木が茂る道を暫く下ると切込湖・刈込湖に辿り着く。ロケーションのいい場所だ。草原化した溷沼を前に昼食を摂る。溷沼から山王峠まではややきつい登りだが大した距離ではない。其処から売店のある光徳牧場までは1時間ほど。ホテルに着いたのは15:00頃。天候にも恵まれ、雪が消え植物が芽生え始める時節の山旅はやはり自然の営みを見て取れる素晴らしいものだった。

日本山岳会宮城支部の令和元年7月～令和元年10月の行事予定

◎2019年7月

- ☆7月5日(金)～7月15日(月)
ヨーロッパアルプストレッキング(チロルアルプス)
- ☆7月6日(土)～7日(日)
全国保護委員会(さいたま市)
- ☆7月上旬 宮城山岳通信第17号発行予定
- ☆7月28日(日) 宮城支部ビールパーティー
(ホテルJAL シティー仙台)

◎2019年8月

- ☆8月1日(木)
第35回地区集会第5回打合(仙台シルバーセンター)
- ☆8月3日(土)～5日(月)
夏山山行(南八ヶ岳)
- ☆8月23日(金)～24日(土)
第6回蔵王御山詣り兼下見登山
(鈴木会員別荘泊)
- ☆8月25日(日)
沢登山行(山域未定)

◎2019年9月

- ☆9月2日(月)
第35回地区集会第6回打合(仙台シルバーセンター)
- ☆9月5日(水)
定例役員会(仙台シルバーセンター)
- ☆9月23日(月)
第9回親子登山教室(達居森)
- ☆9月28日(土)～29日(日)
全国支部合同会議(京王プラザホテル)

◎2019年10月

- ☆10月5日(土)～6日(日)
第35回東北・北海道地区集会(蔵王古道)
- ☆10月上旬 宮城山岳通信第18号発行予定
- ☆10月16日
定例役員会(仙台シルバーセンター)
- ☆10月19日(土)～20日(日)
秋田支部設立60周年記念祝賀会(乳頭温泉)

編集後記

「宮城山岳通信第」17号は、日本山岳会宮城支部設立60周年記念誌（「宮城山岳」第23号）の編集と発行直後の編集と発行となり、いつもより10日ほど遅れての発行となりましたことをお許しください。「宮城山岳」は宮城支部の機関誌（会誌）として年に1号を発行することになっておりますが、「宮城山岳通信」の方は、宮城支部のニューズレターとして3ヶ月毎に定期的に発行することにしております。したがって、「宮城山岳通信」には速報性のある記事を掲載して、支部における最近の動きとこれからどういうことが支部としてなされようとしているのかを、支部関係者の皆さんと日本山岳会本部および他の支部に速報性をもって広く知ってもらうことを目的として発行しているものです。

今回の発行の遅れは、そのような「宮城山岳通信」の速報性を損ねてしまったこととなります。これは、偏に編集者の力不足によるものでありましたことをお詫びいたします。しかしながら、宮城支部関係者の皆さんのご協力とご支援がなければ、このような会報の発行はとうてい実現できないことも事実でありますので、引き続き宮城支部の会報発行に対する皆さんのご支援を宜しくお願い申し上げます。

会報編集出版委員長 遠藤銀朗

宮城山岳通信

発行 公益社団法人日本山岳会 宮城支部
発行日 2019年7月18日、 発行人 富塚和衛
編集出版委員 遠藤銀朗、千石信夫、富塚和衛、細川光一、三宅 泰
事務局 983-0821 仙台市宮城野区岩切畑中9-12 Tel・Fax 022-255-7398